

# 第42回 うつのみやこども賞だより

令和7(2025)年度 10回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番友達にすすめたい本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『みんなの居場所』

白矢 三恵／作 つか／絵 (文研出版)

## ～読んだ本の感想より～



令和8年 3月 1日

- 今までの子ども食堂へのイメージも変わったし、おもしろくて、さくさく読めました。
- まひるちゃんがお母さんに自分の気持ちを泣きながら打ちあけたところが心にのこりました。
- 中に入るとたちまち良いかおりがしてきて、しかも無料で食べられるなんて、私も行ってみたいなあと思いました。3人とも別々の事情をもっていて、おもしろかったです。
- それぞれの家の事情をかかえながら、オニばあの子ども食堂でモヤモヤが解決されていくところがとても良かったです。
- 自分の町にも「ひだまり食堂」があってほしいなと思った。
- それぞれの友人がちがう悩みをかかえていて、その居場所を作ってあげることができるオニばあがすごいなあと思った。
- みんなの不安を一つずつ解決していくところがやさしいと思ったし、おもしろかった。

## 『双子のピアノ』

倉本 由布／著 こりゆ／絵 (アリス館)

- 双子のピアノのことをたくさん知ることができたと、ファンタジー感がある物語で良かった。
- デュオピアノが本当に実在することを知って、おどろいた。
- フレデリックの過去が今につながっていたことにおどろきました。みつるが自分の夢を見つけることができるとすごいなと思いました。
- それぞれ尊敬する人がいて、その人を認めたり、応援することが大事だと思った。
- しずるとみつるでデュオ・ピアノについて探るところや不思議なことがいろいろ起こっているところがよかった。
- 「デュオ・ピアノ」という言葉を初めて聞いた。

## 『ポジション!』

高田 由紀子／作 (岩崎書店)

- 車いすバスケットはぶつかり合う怖いイメージしかなかったけど、すごいと思った。
- バスケットのメンバーそれぞれにいろいろな想いがあり、それを乗り越え協力して試合をするところがおもしろかったです。
- 誰にでもポジション(役割)はあるのだなと思いました。
- 芽吹のバスケットに対する気持ちが強くてすごいと思った。
- 車いすバスケットとバスケット、とってもすごいなと思いました。バスケットは普通の車いすとちがうことを知りました。
- 車いすバスケットにも、バスケットにも、まわりの支える人が大切なことが分かった。ふだん運動をしている人なども飽きずに読める本だと思った。

## 『花に風』

吉野 万理子／作 あわい／絵 (理論社)

- 華道に関心を持ち習い始めるも怖い先輩がいて、考え方の違いからスクハラ、両親の事務所でパワハラ、それ以外でもカスハラなどの問題が出てきて、何が良く何がダメなのかを考えさせられる話でした。
- 題名と内容を見て、この本はハラメントなどの重大さを伝える本でもあったのは?と思いました。
- 色々な花、いけ方がのっていておもしろかったです。
- 「花に風」という言葉は知らなかったけれど、胸に響いた。苦手な子がいても華道をやりたいという思いで、あきらめない主人公がすごかった。